

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	宮崎県	事業実施主体	宮崎県、延岡市	地域再生計画名	便利で安全！つながるみんなの都市づくり
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	宮崎県農村整備課長、森林経営課長、延岡市総合農政課長、林務課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	目標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度	年度	年度	中間実績	基準年度	年度		指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	目標1	農林業振興及び森林機能の改善（間伐実施区域面積の向上）	0ha	H27	15ha	H30	16ha	25ha	R2	○	4	3	林道整備により、中間目標値を達成した。
	目標1	農林業振興及び森林機能の改善（特用林産物の生産拡大）	430t	H27	490t	H30	443t	550t	R2	△			現状では、中間目標値を下回った。
	目標1	農林業振興及び森林機能の改善（新規就農者の確保）	4人	H27	16人	H30	35人	24人	R2	○			既に最終目標値を達成している。
	目標2	主要観光施設利用者数（年間）の増加	915千人	H27	980千人	H30	1180千人	1050千人	R2	○			既に最終目標値を達成している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	中山間地域・営農団地と広域交通施設までのアクセス改善（延岡地区集出荷選果場～日向地区集出荷選果場間）	60分	H27	55分	H30	55分	40分	R2	○	/	/	広域農道整備により、中間目標値を達成した。
	指標2	中山間地域・営農団地と広域交通施設までのアクセス改善（中山間地域（北方町上鹿川地区）～蔵田IC間）	60分	H27	55分	H30	55分	50分	R2	○			林道 須田の本線の整備により、中間目標値を達成した。
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
特別措置を適用して行う事業	農道整備事業（整備延長）	3,682m	2,024m	3,682m	計画期間のR2年度末までに整備完了するため、計画に則した整備を目指していく。								
	林道整備事業（整備延長）	7,620m	2,914m	5,414m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約38%と遅れが伺えるが、引き続き計画に則した整備を目指していく。								
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	森林整備事業	森林整備事業等の制度を活用した循環型林業の推進。			循環型林業を確率させるため、再造林の推進に努めていく。								
	林業担い手総合対策事業	研修活動を通した担い手の育成、林業技術者の養成支援育成。			林業研究グループの研修活動を通して、担い手育成の継続に努めていく。								
	6次産業化関連事業	農林漁業者等を対象としたセミナーや個別相談会等を開催。			意欲ある農林漁業者等を対象に、セミナーや個別相談会等を継続開催していく。								
	自然体験型観光PR事業	「自然体験型観光」のPR活動を支援。			マスメディアや県外を対象にしたPR活動等を支援し、今後も宣伝効果の向上に努めていく。								
④評価方法	中間年度（平成30年度）終了後に中間目標値に関する評価シートを作成して評価した。												
⑤中間評価の公表方法	延岡市林務課のホームページに掲載予定。												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用した広域農道及び林道の一体的な整備により、農林業の振興と観光交流の活性化等の効果を概ね発現できていると考えている。今後、広域農道の整備にともない、さらなるアクセス向上による中山間地域の森林施業における効率化が見込まれる。また、目標達成に向けてソフト事業等の関連事業との連携を行いながら、新規就農者のさらなる増や特用林産物の生産性の向上を図りたい。												
⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況				有りの場合その具体的内容								
	地域再生計画の見直し（有・無）				設計・工程等の見直しにより、林道 下鹿川・上鹿川線について終了年度をR2年度まで延伸し、可愛岳線については事業量を変更して早期竣工を目指す。								
⑧今後の方針等に対する対応	令和2年度予算要望額への反映（有・無）				広域農道については、事業終了年度のため90,000千円を要望し、残延長1,050mの整備を実施し、KPI1を達成する見込み。林道 下鹿川・上鹿川線についても、事業終了年度のため25,000千円を要望し、残延長160mの整備を実施し、KPI2を達成する見込み。								
	有りの場合の増減額 -52,000千円												
⑧今後の方針等に対する対応	整備事業量。事業費の変更認定申請を予定。 ●広域農道の整備事業費の見直しによる変更認定申請を予定。 ・令和2年度の事業費（認定時）329,000千円→（見直し後）180,000千円 [149,000千円（うち、交付金74,500千円減）] ・総事業費（認定時）3,829,000千円→（見直し後）2,682,901千円 [1,146,099千円（うち、交付金573,051千円減）] ●林道の整備事業量、事業費の見直しによる変更認定申請を予定。 ・整備事業量（認定時）7,620m→（見直し後）5,414m ・令和2年度の林道事業費（認定時）110,080千円→（見直し後）155,080千円 [45,000千円（うち、交付金22,500千円増）]												